

今年もインフルエンザにかかりやすい季節になりました。

ワクチンを開発したのはイギリスのジェンナーという医学者です。当時は症状の軽い天然痘患者の膿疱（のうぼつ）から抽出した液を健康な人に注射していました。しかし、この予防法で天然痘にかかった人はしばしば死亡していました。ジェンナーは一七九六年に八歳の少年に牛痘を注射しました。少年は、六週間後回復し、その後天然痘を接種したことが、発症しなかったことになり、腫痘法としてヨーロッパ中に広まり、その後ワクチンが改良され天然痘は根絶されたのです。その後、フランスの細菌学者パスツールやドイツのコッホや一九八〇年代に入

り日本の北里柴三郎や九〇年代には野口英世らによって次々と細菌が発見されワクチンの開発によって克服してきました。



自然医学総合研究所所長

## 大沼 善誉

場での生活が自然のものとは違うことにも着目すべきではないでしょうか。

肥満者が健常者に比べて発病率が五倍も高いことは常識になりつつありますが、肥満の

方の血液と健常者の血液に違いがあるからで、また糖尿病が進行している方は、止血も

現在の地球は世界的に酸素が減少しています。一人の人間が生涯消費する酸素の

治療力を低下させているように思います。従って、新薬の開発に期待する前に、自衛しなければなりません。

また、自衛のために自然環境を取り戻さなければなりません。

現在、地球は世界的に酸素が減少しています。一人の人間が生涯消費する酸素の

出血も 生涯消費する酸素の

している方は、止血も

## がんの盲点⑬

出来ないほど血液が汚量に戻すためには、相対して自然当する植樹が必要で治療力も低下しています。

すし、ウイルスから身を守るリンパ球の能力も低下しています。この問題はがん患者にも通じます。

地球環境が健全である、ウイルスから身を守るリンパ球の能力も低下しています。この問題はがん患者にも通じます。

現代人の生活は、便通が言えるのではない、同様に、食べ物など生

活環境の悪化から自然

つながるといふこと

が、鎖骨が歪むことで

助骨の間には肋間筋や動脈や静脈やリンパや神経も走っています

が、鎖骨が歪むことで



予防医学セミナー開催の様子

これらに白血球を元気にするも障害が、不必要な細胞およびまは破壊されます。これを「腫瘍壊死反応」と呼びます。

側が硬直、血液を健康な状態にし、局所保ち、体を暖かく柔軟壊死の状態にし、血管が若い状態を保ち新陳代謝が健全な状態に戻すことが重要です。

に新陳代謝、便秘、謝が出来、不整脈、無呼吸症、眠り、古いが浅い、自立神経失調症、冷え、頻回排尿、痛みやしびれが長引くなど不安な方は、早め相談してください。

（毎月第1火曜日に掲載します）

（名誉医学博士・生化学博士・平成11年度社会文化功労賞受賞・ナチュラルケアセンター一院長）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

（毎月第1火曜日に掲載します）

### 講演会のお知らせ

講師：大沼善誉 自然医学総合研究所所長 ナチュラルケアセンター一院長  
 平成11年度社会文化功労賞受賞 生化学博士・名誉医学博士  
 開催日：2月18日（日） 名古屋市中区  
 会場：無料  
 テーマ：がんの盲点（13）「発癌と歪み」  
 時間：午前10時開演  
 主催：民間非営利団体 国際自然免疫学会  
 共催：自然医学総合研究所  
 申し込み：自然医学総合研究所 TEL 052・801・7063まで

問い合わせ 電話 052・801・7063  
 Eメール yoshinori@nrt.ne.jp  
 URL http://www.nrt.ne.jp